

# 今、なぜインドなのか？研修地としてのポイント

## 1. 圧倒的な異文化ギャップ、多様な価値観を受け入れ、グローバルスタンダードを理解する

公認されている言語だけでも21、宗教はヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教、シク教、仏教、ジャイナ教など多宗教、多民族であるインド。日本人は島国であり同一の文化的背景をもつたため異質なものを理解するのが苦手と言われています。このまるで世界を凝縮したような舞台のインドでグローバルスタンダードの感覚を養います。

## 2. 学びに貪欲で熱く語れるインド人から刺激を受けグローバルリーダーを理解する

多様性対応能力が高いインド人は多国籍企業でも活躍できる素質をもっており、世界のグローバルリーダーになりうるインド人と一緒に活動することで意識を開花させます。マイクロソフトのナデラCEO、GOOGLEのピチャイCEOをはじめ世界的企業のトップにインド人が名を連ねています。またNASAの科学者の30%はインド人だといいます。

## 3. 新興国インド、世界経済を語るのになくてはならない国になる

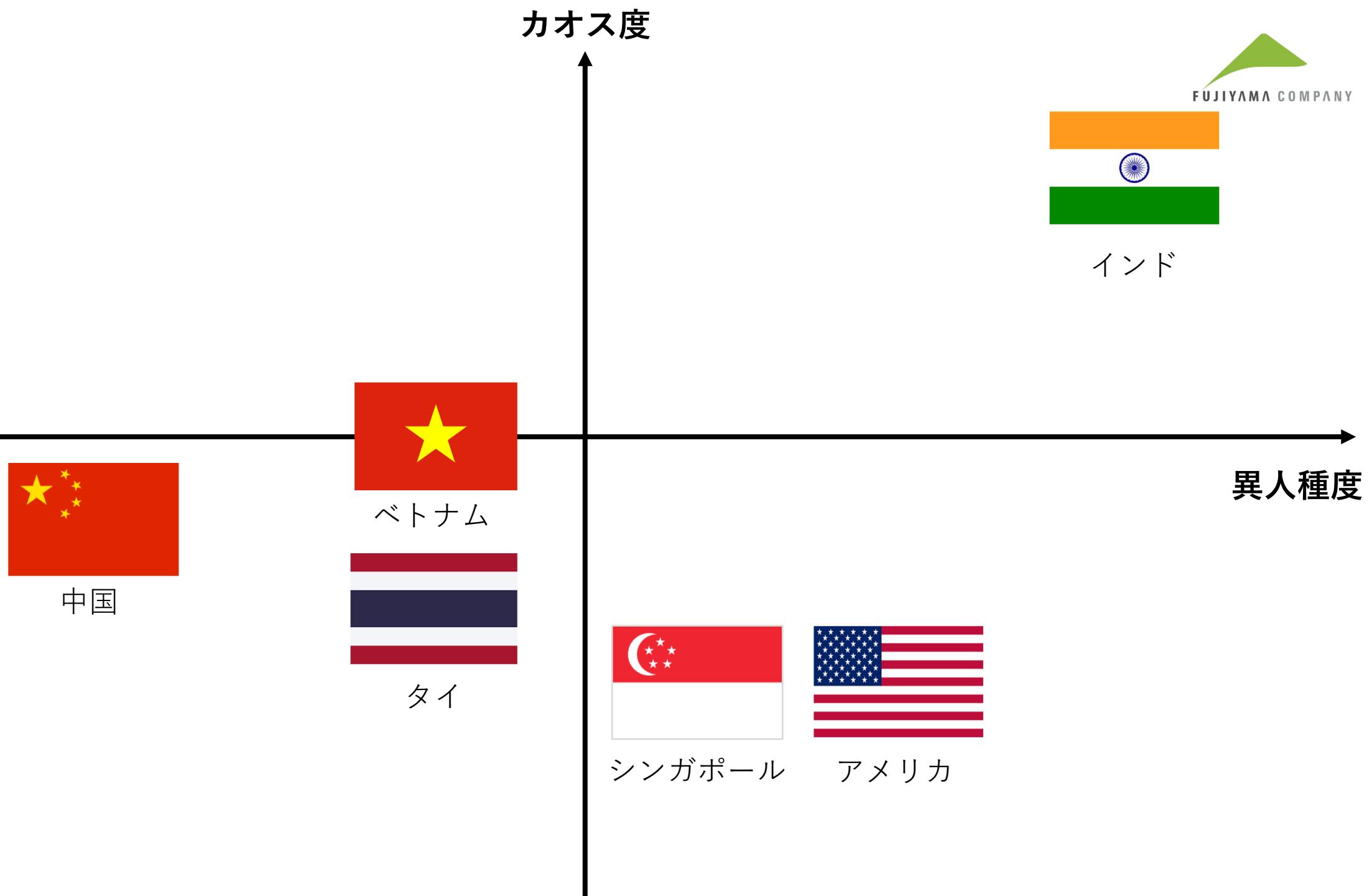
GDP成長率7.1%（2016年度）、総人口のうち約半数強が25歳の若者である豊富な労働力があるインド。2022年に は人口が世界一になるといわれています。また、日本はインドにとって最大の二国間援助国でもあります。世界から注目されるインドの側面を学びます。

## 4. 英語の積極的な学習

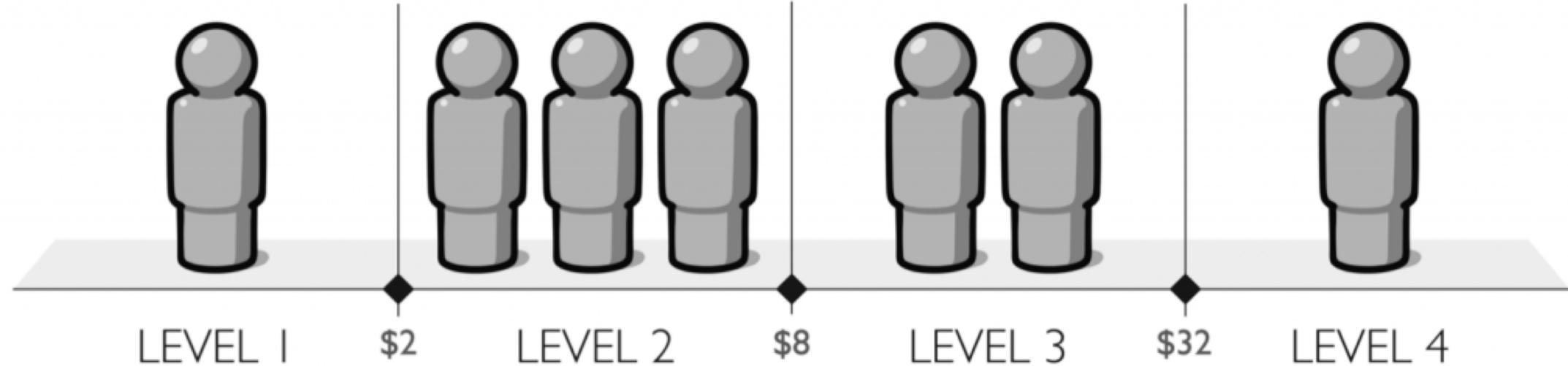
有名なジョークで「国際会議で一番難しいのはインド人を黙らせて、日本人をしゃべらせること」とあるようにインド人はお話し好きです。また、町で道を聞いて、知らなくても答えないのは不親切だという考えのもと一生懸命話を聞き、答えようしてくれます。そのような環境で臆せず、積極的に発言することの大切さを学びます。

## 5. メンタルが鍛えられる

日本の常識が通用しないインドでは日本では考えられないことが日々起こります。感情的にならず相手や状況を受け入れる習慣が自然に身につき、自然と相手や社会に対する許容範囲も広がります。精神的にも自分を成長させてくれる国がインドです。



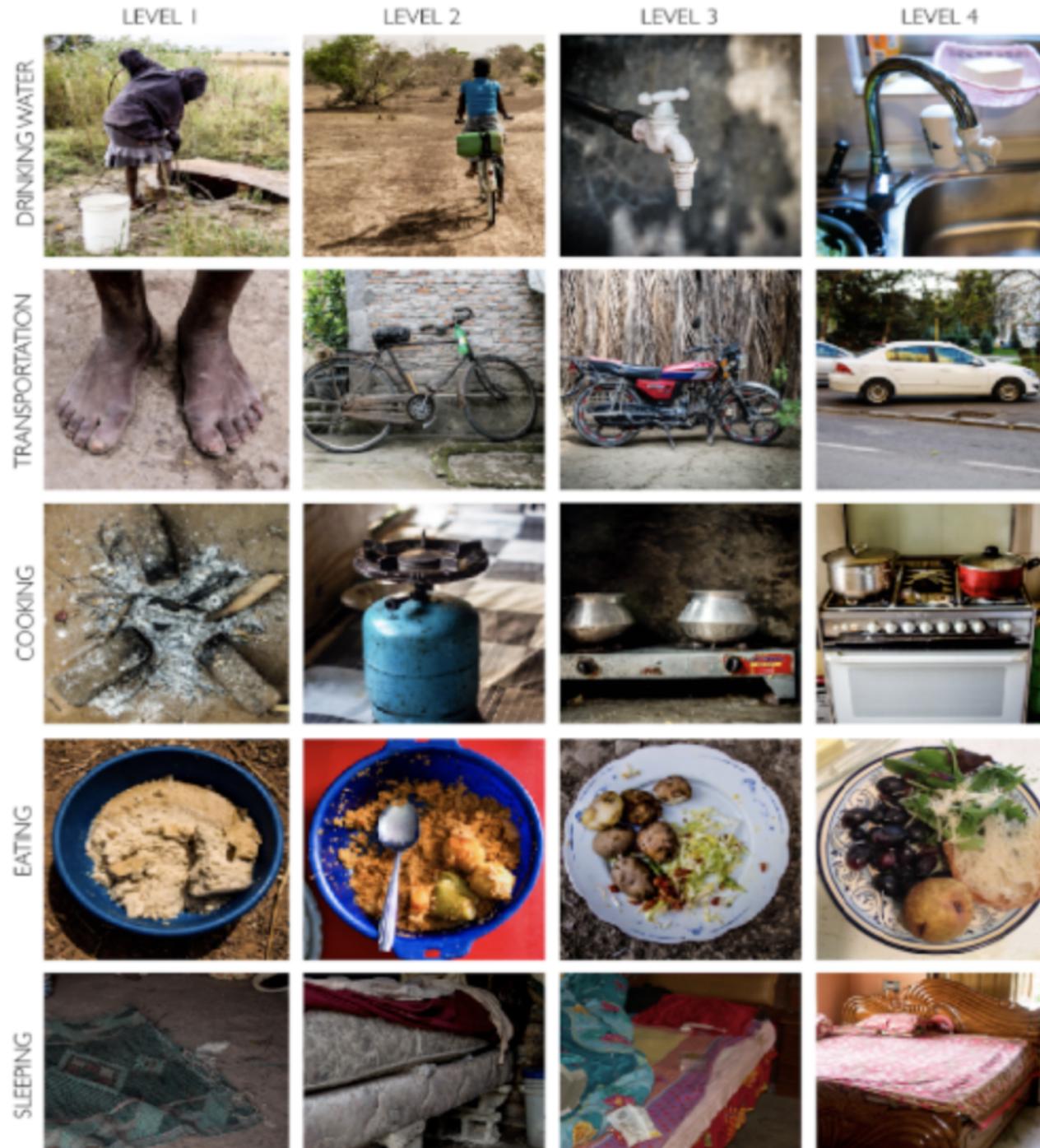
The image below shows how many of the world's 7 billion people live on each Income Level (each figure represents one billion people).



Income per person in dollars per day adjusted for price differences.

Source: Gapminder[3]

- Level 1 is people who earn less than \$2 a day and live in extreme poverty.
- Most people live on Level 2, where they earn between \$2 and \$8 a day.
- On Level 3, people earn between \$8 and \$32.
- The richest billion people live on Level 4, where their income is more than \$32 a day



参照：Gampinder  
Four income levels

# プネで研修を行う利点

## 1. 治安が良い

国内8位の人口規模を誇るプネですが、国内でもっとも治安が安定した都市といわれています。デリーやムンバイなどの主要観光都市では、観光客を狙った詐欺的な被害が多発しているが、プネではそのようなニュースはあまり耳にしません。社員の安全を第一に考えると、インドの中でも特に治安の良いプネを研修地に選ぶメリットがあります。

## 2. インドで急成長している都市

プネはIT産業を中心にインドでもっとも目覚ましい発展を遂げており、街中の活気から経済発展を体感できます。5つの巨大なITパークがあり、近代的なオフィスが並んでいます。ヒュンダイ、フィリップス、アクセント等の外資系企業や、富士通、ブリヂストンなどの日系企業も進出しています。

## 3. 東のオックスフォード “プネ”

「東のオックスフォード」「インドのオックスフォード」として知られる教育・研究の中心地で、インドで最も多くの研究機関が存在します。総合大学が8校、単科大学が600校もあり、インドにくる海外留学生の35%はプネにきています。研究者や学者の数が多く、知的レベルが高い都市です。また、日本語教育が盛んな都市でもあり、日本語能力試験の受験者がインドで一番多いのがプネです。

## 4. 過ごしやすい気候

標高約600Mのデカン高原にあり、インドの富裕層の避暑地としても人気のプネ。インド国内の中でも過ごしやすく、町の40%が緑に覆われ緑の多い街です。フィールドワークにも適しています。